

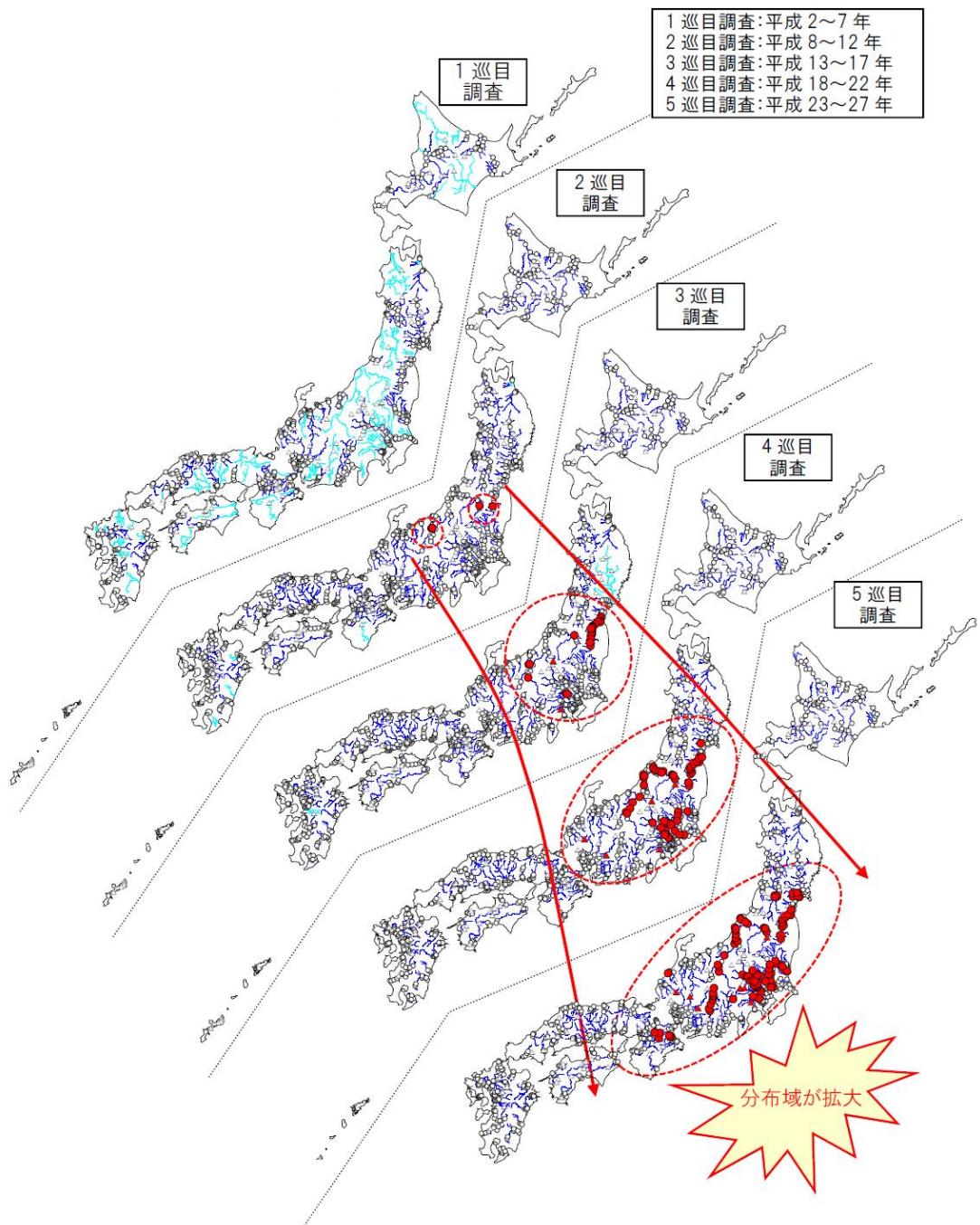
## コクチバスの分布拡大状況

河川水辺の国勢調査によると、コクチバスは調査開始時（1巡目：1991～1995年度）には未確認だったものが、2巡目（1996～2000年度）で初めて確認され、3巡目（2001～2005年度）では5河川（調査河川の4.1%）、4巡目（2006～2010年度）では11河川（同8.9%）、5巡目（2011～2014年度）では20河川（同16.4%）、6巡目（2015～2020年度）は27河川（同22%）、7巡目（2021～2023年度（途中））では3年目の時点で11河川（同22.9%）となっており、回を経るごとに確認河川数及び調査河川に対する確認河川の割合が増加し続けている。

### 河川水辺の国勢調査におけるコクチバスの確認河川数

令和4年度河川水辺の国勢調査結果の概要〔河川版〕（生物調査編）より作成

とりまとめ回 (年度)	1巡目 1991～1995	2巡目 1996～2000	3巡目 2001～2005	4巡目 2006～2010	5巡目 2011～2014	6巡目 2015～2020	7巡目(途中) 2021～2023
確認河川数 (全調査河川数に対する割合)	0 (0.0)	3 (2.5)	5 (4.1)	11 (8.9)	20 (16.4)	27 (22.0)	11 (22.9)
調査河川数	76	119	121	123	122	123	48

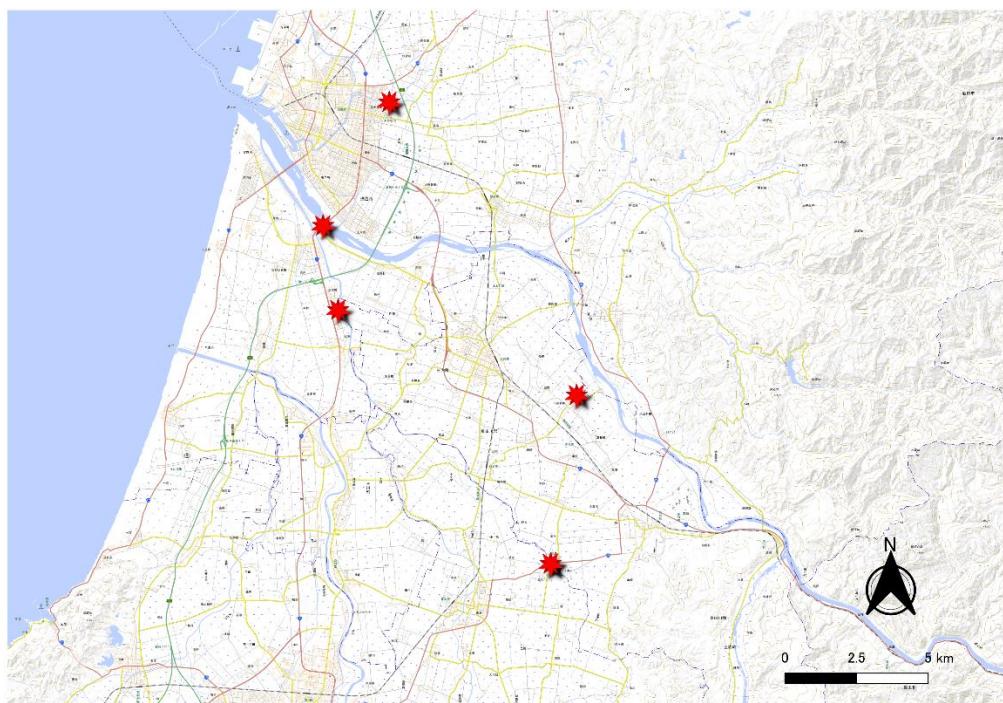


凡例  
 【河川】  
 ●: 確認調査地区 ○: 未確認調査地区  
 【ダム】  
 ▲: 確認調査地区 △: 未確認調査地区  
 注) 青い線は、調査未実施もしくは調査結果が  
 河川環境データベースに未格納の河川を示す。

### コクチバスの経年的な確認状況(1 巡目から 5 巡目まで)

これまでの河川水辺の国勢調査結果総括検討[河川版(生物調査編)ダイジェスト版]より抜粋

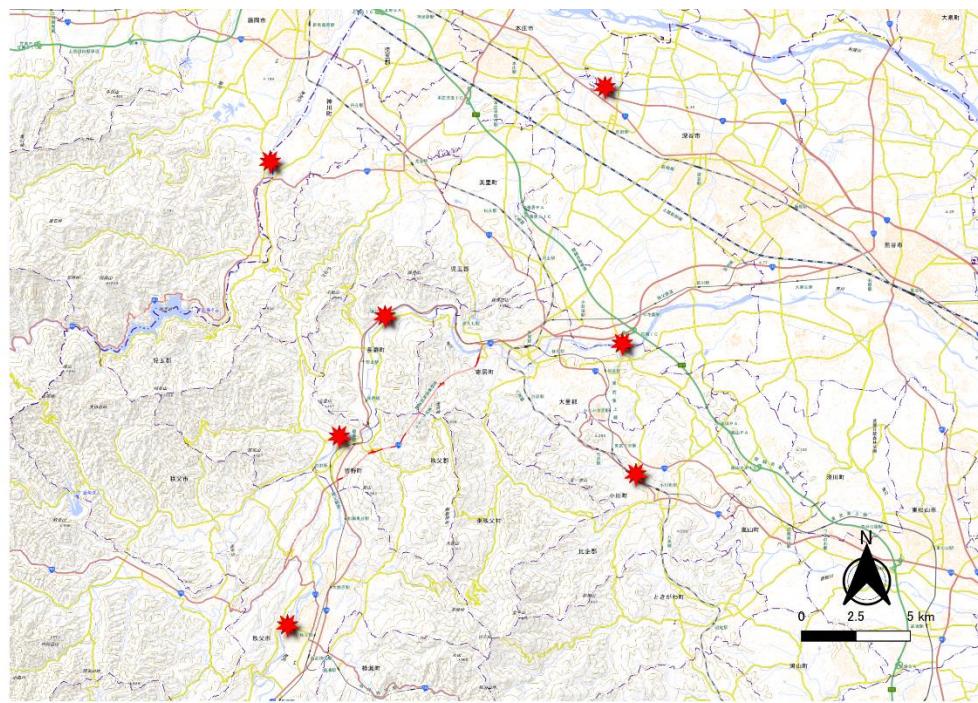
また、環境省の実施する自然環境保全基礎調査淡水魚分布調査（2023年度環境DNA調査における国外外来種結果 中間報告）によると、環境DNAを用いた調査でもコクチバスが検出されている。



山形での環境DNA調査でコクチバスが検出された地点



福島・茨城での環境DNA調査でコクチバスが検出された地点



群馬・埼玉での環境 DNA 調査でコクチバスが検出された地点

自然環境保全基礎調査淡水魚分布調査(2023 年度環境 DNA 調査における国外外来種結果 中間報告)のデータより作成